

敷地内禁煙、その後の検証

- 敷地内禁煙開始から3年が経過しました。
- 数百名の喫煙者がいる中で、そのような規則は守られっこないという意見もありました。
- 保健管理センター と 安全衛生管理室は、敷地内禁煙に対する諸疑問に答えるために継続調査を行っています。
- その経過報告をお示しいたします。

反論1 規則は守られないだろう

- ・ 検証(1)

敷地内禁煙開始前(平成18年4月)から開始(平成20年4月)後(平成20年10月)までの敷地内路上喫煙者数の変化を調べる

結果1 歩行喫煙者は見られなくなった

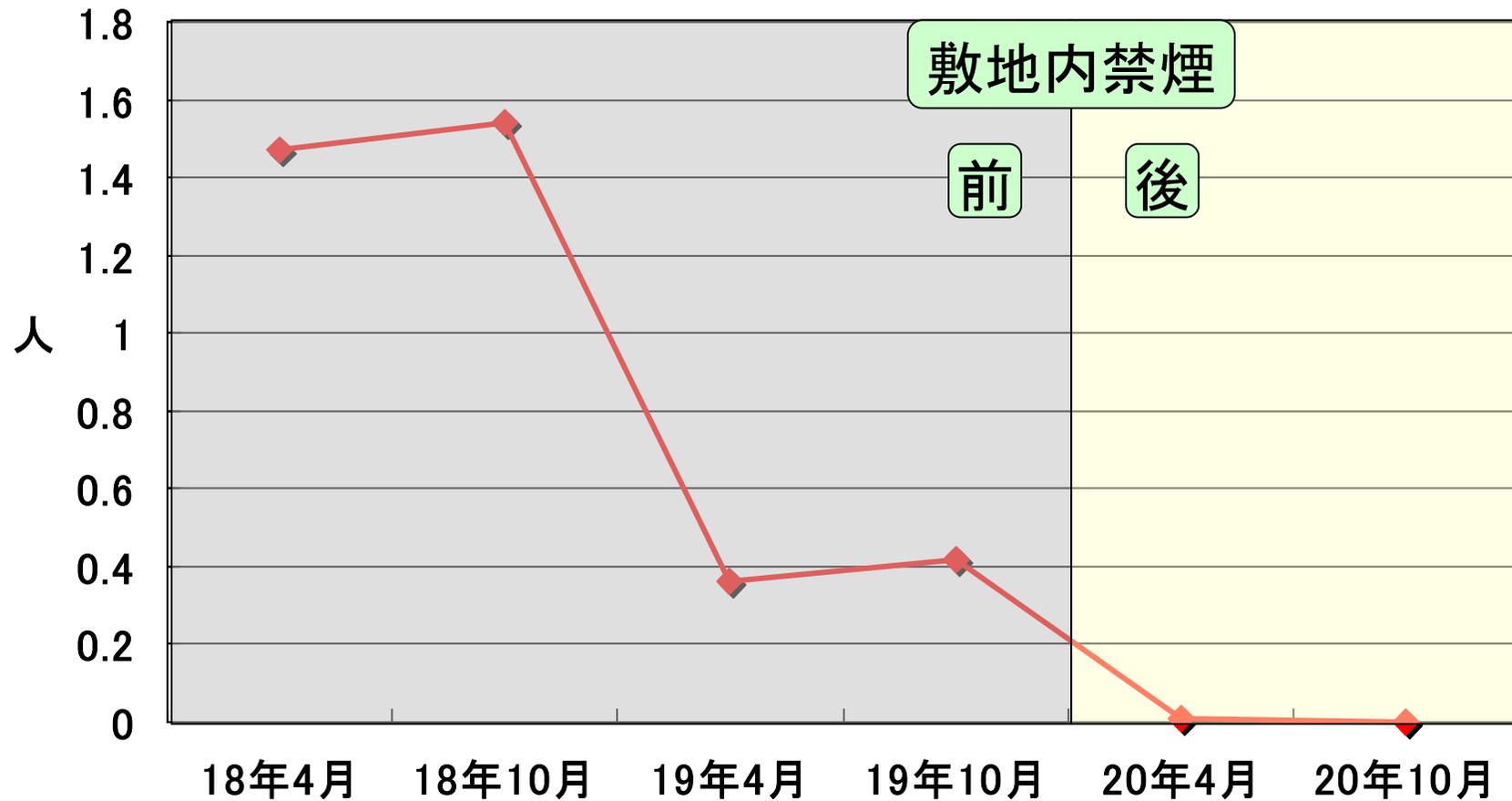


図1 中央食堂前での違反喫煙者
(各月11~19日(15分間)の平均値)

反論2 隠れて吸う人が増える

- 検証 (2)

大学敷地内で人目につかない場所を選定

2007年10月から半年毎に同一エリアでの吸殻本数
と喫煙者数を調査

調査項目と方法

- 休日の翌日を除く3～5日間の吸殻本数
(前日朝にそれまでの吸殻を拾っておく)
(雨天日は調査せず、一日当たりで評価)
- 10時10分～10時30分の喫煙者数

結果2 喫煙者は見られなくなり、吸殻の増加傾向も認められない。

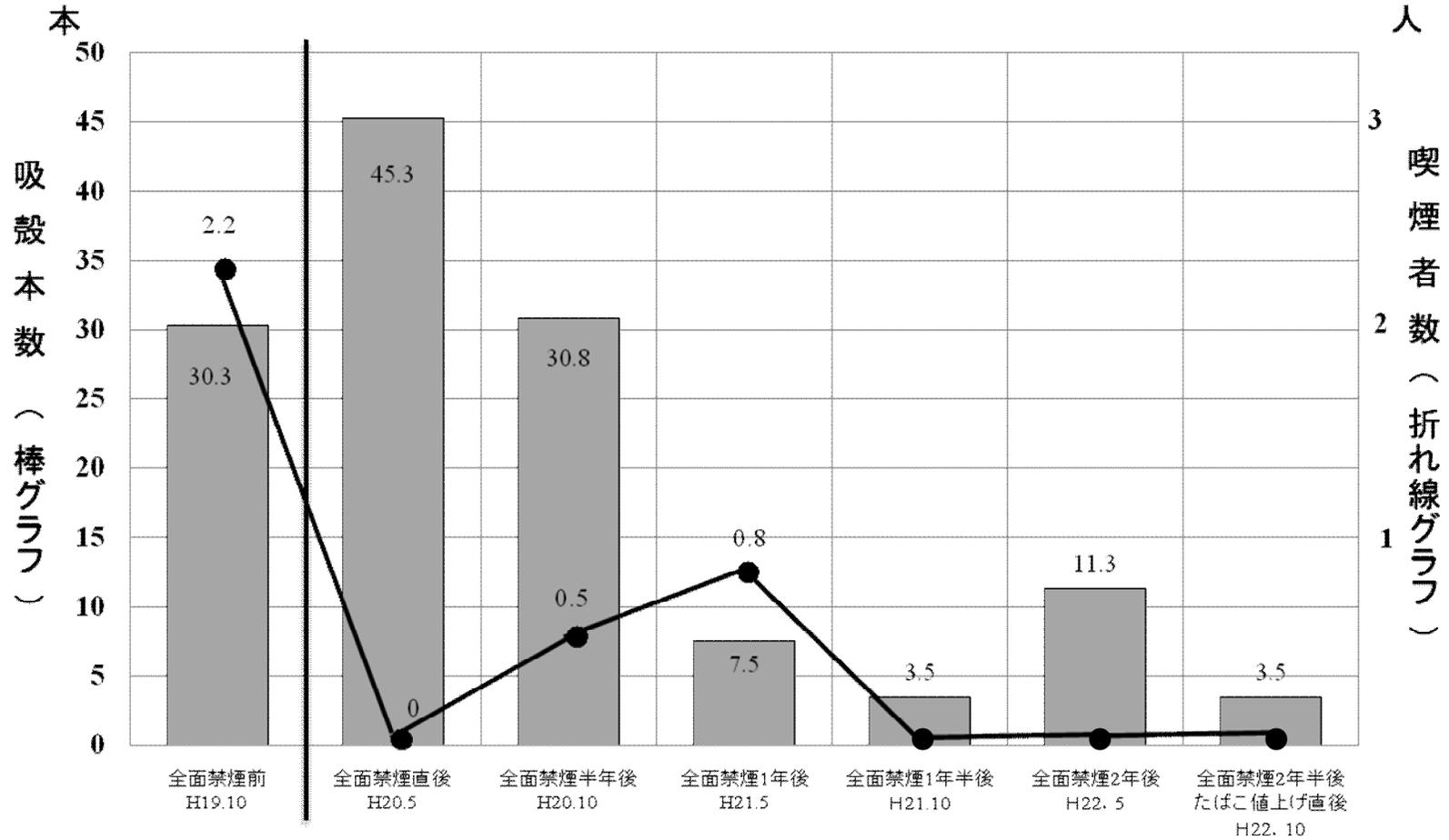


図2 敷地内の人目につかない場所での継続調査結果

反論3 門外での喫煙が増える

- 検証 (3)

(衛生管理者の巡視で工学部北門と東門が問題となった)

(両門とも小学生の通学路に面している)

敷地内禁煙1年後から6ヶ月毎に同一場所で

4～5日間の吸殻本数と喫煙者数を調査

(喫煙者数は12:00～12:20の1日当り平均)

結果3 門外での喫煙者や吸い殻は横ばいで推移

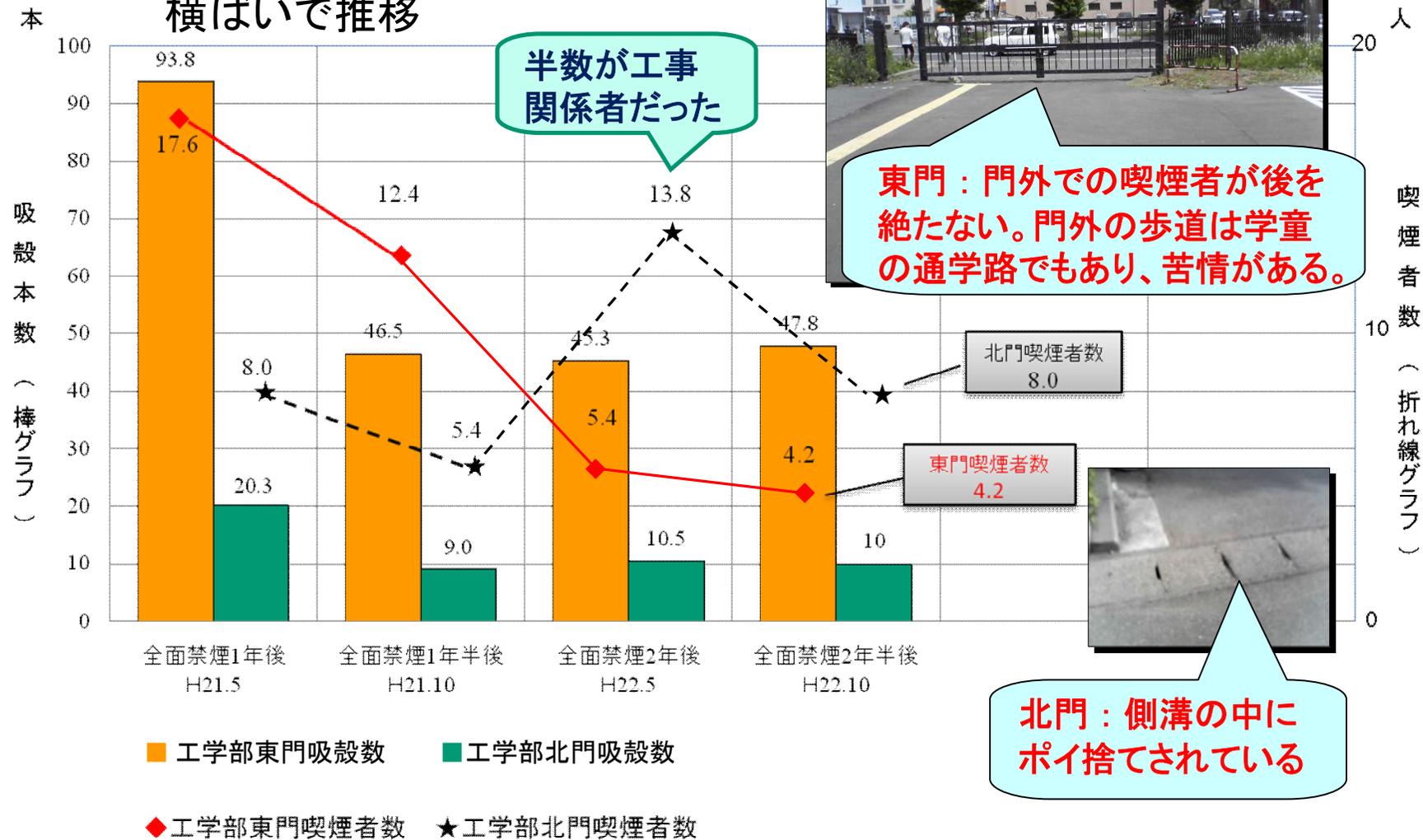


図3 施設内禁煙後の通用門外での喫煙状況
(同一場所での4～5日間の吸殻本数と喫煙者数(12:00～12:20)の平均)

反論4 近隣からの苦情が増える

- 検証（4）

敷地内禁煙後からの苦情件数を1ヶ月毎に
集計する

表1 門外喫煙に対する苦情件数の月別推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2008	5	2	6	4	0	2	3	0	0	0	4	0	26
2009	0	1	1	3	0	0	1	1	0	0	0	0	8
2010	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	3

結果4 敷地内禁煙開始後、現在まで37件の苦情が来ている。
その半数が開始後6ヶ月以内に寄せられたものである。
苦情件数は、その後急激に減少している。

結 論

- 敷地内禁煙を開始してからキャンパス内で喫煙する姿を見ることは無くなりました。
- 通用門の外側で喫煙する人は直後に増えましたが、やがて減少し、横ばい傾向です。
- 学内外からの苦情件数も減少しました。
- これからも、学生と教職員が一体となって大学周辺地域の美化に努め、喫煙者には受動喫煙の防止を呼びかけましょう。